

令和5年2月定例会 総務委員会（事前）

令和5年2月6日（月）

〔委員会の概要 未来創生文化部関係〕

増富委員長

休憩前に引き続き委員会を開会いたします。（11時22分）

これより未来創生文化部関係の調査を行います。

この際、未来創生文化部関係の2月定例会提出予定議案等について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【提出予定議案等】（説明資料、説明資料（その2））

- 議案第1号 令和5年度徳島県一般会計予算
- 議案第5号 令和5年度徳島県母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算
- 議案第32号 児童福祉法施行条例の一部改正について
- 議案第57号 令和4年度一般会計補正予算（第11号）
- 報告第3号 損害賠償（児童福祉施設事故）の額の決定及び和解に係る専決処分
の報告について

【報告事項】

な し

上田未来創生文化部長

それでは、総務委員会説明資料及び説明資料（その2）によりまして、2月定例会に提出を予定しております未来創生文化部の案件及び令和5年度主要施策の概要につきまして、御説明を申し上げます。

今回御審議いただきます案件は、総務委員会説明資料に記載しております令和5年度一般会計・特別会計予算案並びにその他の議案等の条例案及び専決処分の報告について、また、先議分といたしまして、説明資料（その2）に記載しております令和4年度一般会計補正予算案でございます。

総務委員会説明資料の1ページを御覧ください。

令和5年度未来創生文化部主要施策の概要について、3ページまで15項目を記載しております。

1の県民との協働事業の推進では、県民の参加と協働による地域づくりを実現するため、NPO等、県民の自主的、自立的な社会貢献活動を支援する各種事業を行うとともに、地域貢献活動への若者の参画を促進し、県民との協働事業を一層推進してまいります。

2の多様な主体の活躍推進では、多様な人々が持てる個性や能力を存分に発揮し、生き生きと活躍するダイバーシティ社会の実現を目指し、アクティブシニアの活躍支援を推進するとともに、障がい者スポーツ、芸術文化活動の深化と交流促進を図ってまいります。

3の国際交流と多文化共生の推進では、グローバル人材の育成や地域の国際化を図るた

め、ドイツ・ニーダーザクセン州等との相互交流や多文化共生のまちづくりを推進してまいります。

4の人権を尊重する社会づくりでは、徳島県人権教育・啓発に関する基本計画に基づき、様々な人権問題の解決に向け、各種啓発事業を実施するとともに市町村や民間団体との連携協力を図ってまいります。

5の男女共同参画社会の実現では、徳島県男女共同参画基本計画に基づき、性別に関わらず誰もが輝く社会の実現に向け、男女共同参画の推進拠点であるときわプラザにおける講演会やイベントの実施など、機運醸成と意識啓発を図ってまいります。

また、配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画に基づき、普及啓発や相談・保護体制の充実及び自立支援に取り組むとともに、よりそいの樹とくしまを運営し、性暴力被害の防止に関する対策を推進してまいります。

6の次世代育成支援対策の推進では、希望出生率1.8をかなえるため、結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援を実施するとともに、こどもまんなか社会の実現に向け、市町村との緊密な連携の下、子ども・子育て支援新制度を円滑に実施し、地域の実情や子育て家庭の多様なニーズに応じた子育て環境の向上を図ってまいります。

2ページを御覧ください。

7のこどもの未来に向けた支援強化では、深刻化する児童虐待に適切に対応するため、関係機関の相談支援体制の強化、里親養育の支援及び児童養護施設等の多機能化を推進してまいります。

また、ひとり親家庭の自立に向け、就業・生活支援等、幅広い施策を推進するとともに、こども食堂の全県的展開やヤングケアラーの早期発見、支援など、子供が健やかに成長できる環境の構築に取り組んでまいります。

8の青少年健全育成の推進では、とくしま青少年プラン2022に基づき、未来に向かって挑戦し、成長・活躍できる「とくしま」の実現に向け、全ての青少年の健やかな育成や未来を切り拓く青少年の応援など、県民総ぐるみによる青少年育成を推進するとともに、若者の新たな交流拠点である、とくぎんトモニプラザの魅力ある管理運営を行ってまいります。

9の文化の振興では、あわ文化4大モチーフやあわ三大音楽を中心に、あわ文化の魅力を国内外に発信するとともに、二度の国民文化祭の成果を継承・発展させるため、県民が主役となる文化活動を積極的に展開し、次世代・後継者育成や地域活力の向上を図ってまいります。

10の徳島文化芸術ホール（仮称）整備の推進では、県民の文化活動の更なる促進やにぎわいの創出などを図るため、新たな文化芸術の創造発信拠点となる徳島文化芸術ホール（仮称）の実施設計及び工事を実施するとともに、開館に向けた管理運営体制の構築に取り組んでまいります。

11の文化財の保存・活用の推進では、文化財の適切な保存とともに、地域の新たな観光資源として、徳島の魅力発信を図るため、地域の特色を示す様々な文化財の活用や環境整備を推進してまいります。

また、四国遍路、鳴門の渦潮の世界遺産登録や板東^ふ俘虜収容所関係資料のユネスコ「世界の記憶」登録を目指した施策を展開してまいります。

12の「文化の森総合公園」の魅力向上では、郷土徳島の文化等の特色を前面に打ち出した博物館新常設展を中心に、複合施設の特色を生かした魅力ある企画展等を実施し、誘客を促進するとともに、デジタルアーカイブ事業を推進し、各館所蔵資料の閲覧機会の増大を図ってまいります。

3 ページを御覧ください。

13の生涯スポーツの振興では、誰もがライフステージに応じてスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、総合型地域スポーツクラブの活用やサイクルスポーツの普及など、スポーツに参加しやすい環境づくりを推進するとともに、第77回全国レクリエーション大会2023 in とくしまを開催いたします。

14の競技力向上と未来型スポーツ環境の創造では、団体競技の強化や次世代育成等の対策を総合的に推進し、競技力の向上を図るとともに、未来型スポーツ環境の創造を目指し、新たな武道館の整備に向けた検討を進めてまいります。

15のスポーツ交流の推進では、国際スポーツ大会のレガシーを活用したホストタウン相手国との交流を更に深化させるとともに、スポーツツーリズムを推進し、競技力向上や交流人口の拡大による地域活性化を図ってまいります。

続きまして、提出予定案件について御説明を申し上げます。

4 ページを御覧ください。

令和5年度一般会計予算についてでございます。

未来創生文化部の令和5年度一般会計当初予算案の総額は、表の左から2番目A欄の最下段に記載のとおり186億2,837万6,000円となっております。財源につきましては、財源内訳欄に記載のとおりでございます。

5 ページを御覧ください。

特別会計についてでございます。

次世代育成・青少年課所管の母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計におきまして2億2,344万6,000円を計上しております。

6 ページを御覧ください。

課別主要事項につきまして、主なものを御説明申し上げます。

未来創生政策課でございます。

目名、計画調査費の摘要欄②、イのとくしまパートナーシップ推進事業では、NPO、ボランティアなどの社会貢献活動を促進するため、個別相談や各種研修の実施、とくしま県民活動プラザの運営に要する経費など4,431万7,000円を計上しております。

未来創生政策課の予算総額は25億522万2,000円となっております。

7 ページを御覧ください。

ダイバーシティ推進課でございます。

目名、計画調査費の摘要欄①、アの（ア）及び目名、障がい者福祉費の摘要欄②、アの障がい者スポーツ交流支援事業では、パラスポーツを通じた交流により、障がい者スポーツの振興を図るための経費として、合わせて2,641万8,000円を計上しております。

目名、障がい者福祉費の摘要欄③、イのとくしま共生アートプロジェクト推進事業では、2025年大阪・関西万博の開催を見据え、障がい者アートの魅力を広く発信するなど、障がい者芸術文化活動の一層の振興を図るための経費として1,750万円を計上しております。

す。

8ページを御覧ください。

目名、老人福祉費の摘要欄①、アの高齢者の生きがいと健康づくり推進事業では、明るく活力ある長寿社会を実現するため、高齢者の生きがいや健康づくり等を推進する経費として1億4,780万7,000円を計上しております。

以上、ダイバーシティ推進課の予算総額は3億8,744万円となっております。

9ページを御覧ください。

男女参画・人権課でございます。

目名、社会福祉施設費の摘要欄②社会福祉施設整備事業費では、イの隣保館整備事業費補助金など3,952万4,000円を計上しております。

10ページを御覧ください。

目名、婦人保護費の摘要欄②、イの（ア）DV被害者自立支援事業では、配偶者からの暴力防止と被害者の自立支援の充実を図るため、関係機関との連携を強化するとともに、民間団体の活動を支援するための経費として370万9,000円を計上しております。

目名、人権施策推進費の摘要欄②人権啓発推進費では、アの人権教育・啓発総合調整事業費をはじめ、人権啓発に係る経費として3,638万3,000円を計上しております。

摘要欄③人権教育啓発推進センター運営費では、人権教育啓発の推進拠点である、あいぽーと徳島の運営費として7,836万円を計上しております。

以上、男女参画・人権課の予算総額は6億2,530万円となっております。

11ページを御覧ください。

次世代育成・青少年課でございます。

目名、計画調査費の摘要欄①地方創生の深化のための支援費では、エの（ア）児童相談所DXプロジェクトによるデジタル技術を活用し、児童相談所の体制強化を図る経費など4,362万6,000円を計上しております。

目名、青少年女性対策費の摘要欄②青少年健全育成対策費では、未来に向かって挑戦し、成長・活躍できる「とくしま」を目指した青少年対策を推進する経費として983万9,000円を計上しております。

12ページを御覧ください。

目名、児童福祉総務費の摘要欄③、カのヤングケアラー支援体制構築事業では、ヤングケアラーを早期発見、把握し、子供に寄り添った支援につなげるため、県や市町村、民間団体などの関係機関が連携し、支援体制の構築を図る経費として600万円を計上しております。

同じく摘要欄③、キのこども家庭見守り緊急対策事業では、家事や育児に対して困難を抱えた家庭等を支援するため、市町村における支援体制の充実を図る経費として4億1,001万9,000円を計上しております。

摘要欄⑤児童健全育成対策費では、アの放課後児童対策事業費やイの（カ）チーム育児推進！事業など、地域全体で子育て家庭の支援を促進するための経費として7億3,291万3,000円を計上しております。

13ページを御覧ください。

摘要欄⑥保育事業振興費では、アの保育人材確保等推進事業をはじめ、保育士等の人材

確保や資質向上を図るための経費として3,630万2,000円を計上しております。

摘要欄⑦特別保育対策費では、ウの多様な子育て支援推進交付金事業により、子育て家庭の多様なニーズに応えた支援を推進するとともに、エの保育環境向上支援事業により、子供が安心・安全に成長できる環境を確保するため、保育提供体制の整備や勤務環境の改善を支援する経費など7億9,248万4,000円を計上しております。

14ページを御覧ください。

目名、母子福祉費の摘要欄②母子福祉等対策費では、アのひとり親家庭等医療費助成事業補助金をはじめ、ひとり親家庭等への支援を行うとともに、カのひろがれ！こどもの居場所応援事業により、こども食堂の全県的展開を支援するなど、1億1,441万3,000円を計上しております。

以上、次世代育成・青少年課の予算総額は105億9,384万4,000円となっております。

15ページを御覧ください。

次世代育成・青少年課所管の母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計でございます。

母子家庭、父子家庭及び寡婦の経済的自立の助成を図るための経費として、総額2億2,344万6,000円を計上しております。

16ページを御覧ください。

文化・未来創造課でございます。

目名、計画調査費の摘要欄③、アの「阿波人形浄瑠璃」魅力発信派遣事業では、阿波人形浄瑠璃の魅力を広く発信するため、人形座と人形師を国外に派遣し、阿波人形浄瑠璃の公演や木偶人形の制作の実演を行うための経費として1,000万円を計上しております。

目名、文化及び文化財費の摘要欄①文化振興費では、2025年大阪・関西万博の開催や徳島文化芸術ホール（仮称）の開館を見据え、ウのとくしま身近に文化感動事業など、文化芸術への更なる関心と呼び起こし、あわ文化の魅力を広く発信するための経費として1億1,427万7,000円を計上しております。

また、摘要欄③、アの新ホール整備事業では、徳島文化芸術ホール（仮称）の実施設計及び工事を実施するとともに、令和8年度の開館に向けた管理運営体制の構築を図るための経費として14億9,630万円を計上しております。

以上、文化・未来創造課の予算総額は21億9,058万1,000円となっております。

17ページを御覧ください。

文化資源活用課でございます。

目名、文化及び文化財費の摘要欄②、アの（イ）阿波の「民俗文化財」伝承推進事業では、本県の風土や歴史に根ざした民俗文化財を次世代へ確実に継承するため、調査及び普及啓発活動を行い、文化財を核とした地域の活性化を図る経費として317万8,000円を計上しております。

（オ）の「四国遍路」を世界遺産に！推進プロジェクトでは、四国遍路の世界遺産登録に向け、史跡指定に向けた文化財調査を計画的に進めるとともに、四国遍路の魅力を発信し、機運の醸成を図るための経費として1,856万8,000円を計上しております。

以上、文化資源活用課の予算総額は5億3,623万6,000円となっております。

18ページを御覧ください。

文化の森振興センターでございます。

目名、計画調査費の摘要欄①、アの日本最古級恐竜化石含有層調査・発信プロジェクト事業では、県立博物館新常設展の目玉展示の一つである恐竜化石の発掘調査を行うとともに、SNSの活用や発掘体験イベント等を通じ、全国に本県の魅力を発信するための経費として3,400万円を計上しております。

イの徳島県文化の森デジタルアーカイブ構築事業では、文化の森各館が所蔵する貴重な資料の高精細画像によるデジタル化を推進し、更なるコンテンツの充実を図るための経費として1,000万円を計上しております。

また、目名、文化の森総合公園文化施設費の摘要欄④、アの博物館誘客強化事業では、新生博物館の知名度や来館者の満足度の向上を図るため、観覧環境の整備やコンテンツの拡充を進めるとともに、情報発信を強化するための経費として1,500万円を計上しております。

以上、文化の森振興センターの予算総額は9億9,524万4,000円となっております。

19ページを御覧ください。

スポーツ振興課でございます。

目名、計画調査費の摘要欄②、アの自転車でひろがる「人・まちづくり」プロジェクトでは、サイクルスポーツの普及促進に取り組み、サイクリストの裾野拡大や受入環境の充実を図るための経費として500万円を計上しております。

同じく摘要欄②、イの（イ）及び目名、体育振興費の摘要欄⑤、イの（イ）新たなスポーツ大会・合宿スタイル発信事業では、徳島県スポーツコミッションを核としたスポーツツーリズムを推進し、国内外からのスポーツ大会合宿を誘致するとともに、本県競技団体とのハイレベル交流を行うための経費として、合わせて2,830万円を計上しております。

目名、体育振興費の摘要欄⑤、アの（イ）「全国レクリエーション大会2023 in とくしま」開催事業では、本年9月に国内最大規模の生涯スポーツとレクリエーションの祭典、第77回全国レクリエーション大会を開催するための経費として770万円を計上しております。

20ページを御覧ください。

目名、体育振興費の摘要欄⑥、イのオリンピック選手輩出・国体飛躍プロジェクトでは、団体競技の強化、次世代育成、指導者の確保、競技環境の整備等の対策を総合的に推進するための経費として1億3,543万9,000円を計上しております。

以上、スポーツ振興課の予算総額は7億9,450万9,000円となっております。

21ページを御覧ください。

継続費についてでございます。

徳島文化芸術ホール（仮称）の整備に要する経費として、今回新たに令和5年度から令和8年度までの継続費の設定をお願いするものでございます。

22ページを御覧ください。

債務負担行為についてでございます。

文化資源活用課所管の徳島県立埋蔵文化財総合センター受変電設備改修工事請負契約について、スポーツ振興課所管の徳島県蔵本公園等の管理運営協定について、それぞれ債務負担行為限度額の設定をお願いするものでございます。

23ページを御覧ください。

次に、その他の議案等につきまして、2点御説明いたします。

1点目は、条例案についてでございます。

児童福祉法施行条例の一部を改正する条例につきまして、児童福祉法の一部が改正されたことに伴い、所要の整理を行う必要があることから改正を行うものでございます。

施行期日につきましては、令和5年4月1日としております。

24ページを御覧ください。

2点目は、専決処分の報告についてでございます。

徳島学院で発生した事故について和解が成立し、令和5年1月19日に専決処分を行ったため、御報告させていただくものでございます。

続きまして、説明資料（その2）を御覧ください。

令和4年度一般会計補正予算案につきまして、御説明申し上げます。

1ページを御覧ください。

一般会計の歳入歳出予算についてでございます。

補正総額は、総括表一番下の計欄の左から3列目に記載のとおり1億8,991万8,000円の増額をお願いいたしておりまして、補正後の予算総額は、その右の欄のとおり203億2,752万5,000円となっております。補正額の財源内訳につきましては、括弧内に記載のとおりでございます。

2ページを御覧ください。

課別主要事項につきまして、御説明申し上げます。

次世代育成・青少年課でございます。

目名、児童福祉総務費の摘要欄①、アのこども家庭見守り緊急対策事業では、市町村におけるこども家庭センター開設に向け、施設整備や運営に対する支援を行うための経費として1,540万円を計上しております。

続きまして、摘要欄②、アの放課後児童対策事業費では、放課後児童クラブにおいて、業務のICT化を推進するための経費として1,000万円を計上しております。

摘要欄③、アの安心こども基金積立金では、子供を安心して育てることのできる環境整備を図るため、安心こども基金の積み増しを行う経費として1億6,451万8,000円を計上しております。

以上、次世代育成・青少年課の補正後の予算総額は130億5,570万1,000円となります。

3ページを御覧ください。

繰越明許費変更分についてでございます。

児童虐待防止等対策費では、ただいま御説明いたしました補正予算のうち、こども家庭見守り緊急対策事業に要する経費を追加し、繰越予定額を2,845万円に、児童健全育成対策費では、放課後児童対策事業費に要する経費を追加し、繰越予定額を7億4,066万6,000円にそれぞれ変更をお願いするものでございます。

今後、事業の早期執行に鋭意、努めてまいりますので、御理解を賜りたいと存じます。

以上が、今定例会に提出を予定している案件でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

増富委員長

以上で説明は終わりました。
これより質疑に入ります。
それでは、質疑をどうぞ。

古川委員

まず、本当に基本的なことですが、この補正予算の分がイコール先議分ということによってよろしいですね。

新ホールの継続費の令和5年度の年割額と先ほど説明のあった新年度予算の額がイコールにならないんですけど、この関係をちょっと教えてください。

伊澤文化・未来創造課プロジェクト担当室長

ただいま古川委員より、継続費と令和5年度の当初予算額に関して御質問いただいております。

まず、この度の設定をお願いしております継続費につきましては約198億円という形になっておりますが、この内訳は、本体工事費に工事監理費等の費用を加えたものとなっております。このうち、本体工事費につきましては約194億円ですが、まだ新ホール自体が実施設計の途中でございますので、基本設計合意額をベースにした数字を設定させていただいております。

また、令和5年度予算として計上させていただいております14億9,630万円のうち12億5,800万円が令和5年度の継続費の年割額となっております。この内訳も本体工事費、監理費等となっております。14億9,630万円との差額につきましては、令和5年度も継続する実施設計の費用や令和8年度の開館を見据えた管理運営体制の構築、これらに係る経費ということになっております。

古川委員

なんとなく分かりましたので、また詳しく教えてください。
あともう1点だけ。

説明資料の19ページに新たなスポーツ大会・合宿スタイル発信事業とあります。私も前の定例会の一般質問の中で、阿南の野球の取組みみたいな、そういうのが徳島の交流人口を増やす取組につながっていったらいいなみたいな発言をさせてもらったんですけども、そういうような趣旨の事業かなと思うんですが、もうちょっと詳しく教えてもらえますか。

増富委員長

小休します。（11時48分）

増富委員長

再開します。（11時49分）

大西スポーツ振興課長

新たなスポーツ大会・合宿スタイル発信事業の具体的な事業内容についての御質問でございます。

2025年大阪・関西万博に向けた機運の盛り上がりに合わせて、徳島県スポーツコミッションを核としたスポーツツーリズムによる交流人口拡大と地域活性化を更に推進して、積極的なスポーツ大会、合宿誘致、国内外のトップ選手やチームを招へいし、本県競技団体とのハイレベル交流等を実施することで、本県のスポーツブランドの更なる向上を図るというものでございます。

具体的な事業の内容といたしましては、本県での大会、合宿開催を後押しするために、スポーツ博覧会等への出展でありますとか、大学や旅行会社への広報活動を行うとともに、合宿開催経費の一部助成などを行うものでございます。

また、本県のスポーツブランドの更なる向上を図るために、国内外のトップ選手やチームを招へいいたしまして、本県競技団体とのハイレベル交流を実施するものでございます。

古川委員

しっかり進めていってほしいなと思いますけど、前年度より若干予算が減っているのがちょっと気になるので、もっとしっかりやってほしいなと思います。

東条委員

児童相談所のデジタル化によるということで、今回新しい事業があるんですけれども、この分に関してもうちちょっと詳しく教えていただければと思うんで、お願いします。

山名こども未来応援室長

東条委員より、児童相談所DXプロジェクトにつきまして御質問を頂いております。

この事業の目的といたしましては、年々増加いたしております児童虐待を未然に防止し、安心して生み育つことができる徳島を実現するために、デジタル技術を活用した業務改革を行うことによりまして、児童相談所の体制強化を図るものでございます。

事業の概要といたしましては、児童相談所におきまして児童相談管理システムを導入いたします。ネットワーク上で虐待情報を共有することによりまして、虐待の早期発見、早期対応をはじめ、見守り体制の充実につなげるとともに、このシステムをマルチデバイス対応、タブレットなどでも活用できるようにすることによりまして、担当者全員にタブレットを配置し、場所や時間に左右されない迅速な虐待対応を実現し、児童相談所の更なる体制強化を図るものとして計画しております。

この効果といたしましては、児童相談所が介入機関及び相談機関としての機能強化が図られるとともに、限られた人材の中、昼夜を問わず緊急事態に対応している職員の負担軽減にもつながるものであると考えております。

東条委員

昼夜問わずということは24時間対応するというようなことなんでしょうか。

山名こども未来応援室長

東条委員より、御質問いただきました。

場合によってということでございます。現状でも昼夜を問わず対応しておりますので、一度県庁に向かう時間のロスといったものが解消され、業務対応が迅速になるということをご想定しております。

東条委員

やはり未然に防止するというのが一番大事だと思うんです。本当に、DVや虐待はなかなか声に出せないというのが現状ですので、その声を拾っていただく。できるだけ市町村にも広げていただいて、声を拾っていただくことが大事だと思いますので、その点も十分周知していただけたら有り難いと思っています。これも教育委員会や関連団体とも連携していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

増富委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、未来創生文化部関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（11時54分）